

Affiliated with the International Asso  
THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HACHIOUJI  
Chartered October 30, 1994



〒191-0032  
東京都日野市三沢 884-1-302  
中塚 辰生 TEL : 042-592-7965  
携帯 : 090-8461-1739  
e-Mail : t.nakatsuka@softbank.ne.jp

2017 年 5 月

第263号

The Service Club of The YMCA

## 東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長 中塚 辰生  
副会長 小口 多津子 多河 敏子  
書記 久保田 貞視 小口 多津子  
会計 長谷川 あや子  
林外会長 並木 雍子  
担当主事 中里 敦  
ブリテン 山本 英次・茂木 稔  
大久保 清 多河 敏子  
直前会長 長谷川 あや子

国際会長主題 Joan Wilson(カナダ) 「私たちの未来は、今日より始まる」  
スローガン: 「手を取り合えば、もっと多くのことができる」  
アジア地域会長主題 Tung Ming Hsiao (台湾) 「ワイズ運動を尊重しよう」  
スローガン: 「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」  
東日本区理事主題 利根川 恵子 (川越) 「明日に向かって、今日動こう」  
スローガン: 「手を取り合って、今、行動を！」  
あずさ部部長主題 浅羽 俊一郎「あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ！」  
クラブ会長主題 中塚 辰生 「クラブ活性化に全員が一歩前進」

### 2017年5月DBC合同例会

日時: 2017年5月20日(土) ~ 21日(日)  
場所: 名古屋 名古屋YMCA

◇ 5月20日  
新横浜集合 ひかり509号 7号車  
名古屋着 12:17着  
駅構内にて大阪セントラルメンバーと出会う 13:00  
名古屋YMCAにて合同例会  
名古屋市 ルートイン名古屋 宿泊

◇ 5月21日(日)  
市内観光  
名古屋駅発 ひかり524号 15:26  
新横浜着 16:51  
解散 17:00

### 巻頭言

#### 卓話の感想

久保田佐和子

4月例会の卓話者・塚本回子さんは2008年のメネット会の折、八王子が誇る作詞家であり回子さんのお父様である井田誠一さんのお話をさせていただき、今回は「Dr. 肥沼の偉業を後世に伝える会」の代表としてお話をして頂きました。並木メンがご自分の同窓会で知った高校の先輩でもあ

先月の例会ポイント (4月)		BF ポイント	
在籍	17名	切手 (国内・海外)	10g
メン	11名	累計	185g
メイキャップ	1名	現金	0円
出席率	71%	累計	0円
メネット	3名	スマイル	6,101円
ゲスト	4名	累計	77,616円
ビジター	0名		
ひっじぐも	6名	オークション	0円
		累計	0円

#### (聖句)

「神はモーセに、「わたしはある。わたしはあるという者だ」と言われ、また、「イスラエルの人々にこう言うがよい。『わたしはある』という方がわたしをあなたたちに遣わされたのだと。」

神は、更に続けてモーセに命じられた。「イスラエルの人々にこう言うがよい。あなたたちの先祖の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である主がわたしをあなたたちのもとに遣わされた。これこそ、とこしえにわたしの名／これこそ、世々にわたしの呼び名。」

(出エジプト記3章14~15節)

る Dr. 肥沼の話に感銘を受け塚本さんにお願いをされた次第です。

Dr. 肥沼は八王子市中町の生まれ。1937年放射線の研究者としてドイツのベルリン大学へ留学。東洋人初のベルリン大学教授資格を取得。しかしドイツ敗戦前、大使館から帰国命令が出され殆どの日本人は帰国したが、Dr. 肥沼は研究を重ねたい思いでドイツに残った。疎開のためポーランドに近い所に移った彼は、戦後ロシア軍から発疹チフスの蔓延しているグリーンツェンの診療所長として診療を依頼された。Dr. 肥沼は自分の分野ではなかったが、「誰かのために生きてこそ人生には価値がある」という崇拜していたアインシュタインの言葉に従いその役を引き受けた。彼は自分の命の危険も顧みず寝る間も惜しんで治療活動を行い自らも発疹チフスにかかり37歳で亡くなった。1989年ベルリンの壁が崩壊し東西ドイツ統一後、グリーンツェン市が日本のある教授に依頼、「朝日新聞の尋ね人欄」に「Dr. 肥沼」のことが掲載され、弟さんである肥沼栄治さんの知る所となった。43年間誰も知ることがなかった事だった。Dr. 肥沼のことはグリーンツェンの人々によって語り継がれ、お墓が整備されている。今そこに咲く桜は肥沼栄治氏から寄贈された桜だ。Dr. 肥沼の「みんなに日本の桜を見せたい」「桜が見たい」という言葉通りになった。

Dr. 肥沼のことは今年2月民放TVで「ドイツ人が愛した日本人」としても取り上げられた。塚本さんは2005年グリーンツェンにある Dr. 肥沼のお墓を訪問しました。また Dr. 肥沼の偉業を八王子市民に知ってもらう為に、2015年「Dr. 肥沼の偉業を後世に伝える会」を立ち上げ、肥沼家のご親族を招いて種々の会合を開いたり、小中高等学校などで講演をされています。また Dr. 肥沼の実父の医院のあった辺りの中町公園に顕彰碑を建てる運動が実り9月初めには除幕式が行われます。八王子市市制100周年記念事業として7月には「ヴェーリーツェンと友好都市」締結の運びになっています。これらはひとえに、塚本さんが八王子の子供たちに伝えたいこと：「誰かのために生きてこそ人生には価値がある」を実行した Dr. 肥沼の人生を知って欲しいこと、戦争や政治紛争によって同じ国の人たちが分断された事実と今後そのようなことがあってはならないことを考えて欲しいことです。八王子市民として又日本人として誇れる偉人のお話をありがとうございます。

## 第7回障がい者フライングディスク大会

長谷川あや子

4月22日、富士五湖クラブ主催の第7回障がい者フライングディスク大会に参加するために富士吉田市に行ってきました。2011年10月1日に第1回大会が富士吉田市パインズパーク芝生広場で行われてから7年、だんだんと参加者が増え、第1回は50名でしたが今年は101名、13事業

所からの参加でした。ちょうど桜が満開を迎え、肌寒いもののまずまずの日和でした。9時30分、芝生広場に着くと遠くから近くから応援に駆け付けたあずさ部のメンバーの顔が見えました。山手、東京西、武蔵野多摩、サンライズ、甲府21、八王子、そして御殿場クラブの皆さんが勢ぞろい。富士五湖のメンバーの指示に従って私達も役割分担が決まりました。開会式には富士吉田市副市長もお見えになり、励ましの言葉をかけられました。地元のテレビ局も取材のカメラを回しはじめ、この大会が地元で大きな存在になっているのを感じました。

フライングディスク競技の審判員の方も10名位来て下さりいよいよ競技開始の時間になりました。輪の中にディスクを投げ入れるアキュラシー競技と飛距離を競うディスタンス競技の二種類でしたが、101名全員がこの競技に参加しました。1位から3位はメダルと賞品のクッキーと認証状、4位以下の人にはクッキーと認証状が手渡されました。ワイズのメンバーはメダルを首にかけてクッキーを手渡す役割でした。メダルをかけてもらった時の彼らの嬉しそうな顔、誇らしそうな顔、そしてみんなで万歳三唱、本当に嬉しい瞬間でした。大会当日まで一生懸命練習したのでしょうか、どの人もどの人も自分の力を一杯出していることがわかりました。閉会式では市長賞が「めばえ事業所」に、市議会議長賞が「どんぐり牧場」に、富士五湖賞が「わかあゆ工房」に贈られました。クッキーは「めばえ事業所」の作製だそうです。

大会終了後の昼食の時間は芝生にシートを広げ輪になって座り、まるでお花見のようですがビールで乾杯、お弁当を頂きました。残念ながら富士山は雲の中でしたが・・・

浅羽部長は前日の富士五湖クラブ第二例会、22日はフライングディスク大会、そして夜は八王子クラブを公式訪問して下さいました。

八王子の第二例会は7名の出席でしたが、浅羽部長を囲みながらワイズ活動について忌憚のない意見を出し合い、思いをぶつけました。議論を戦わせるのではなく、話があちこちに飛びながらも柔らかな話し合いがたまには必要なのでしょう。浅羽部長、ありがとうございます。



## 委員長就任のご挨拶

須郷利貴

昨年度、前任の佐藤克彦さんに代わりまして中央大学YMCA（ひつじぐも）の委員長に就任いたしました、経済学部3年の須郷利貴と申します。つきましては、100年以上の長い歴史を持つ中央大学YMCAの委員長というクラブのトップに立つものとしての自覚を持ち、今まで以上によりよい活動が行えるようにまい進して参ります。また、東京八王子ワイズメンズクラブの皆様のご支援があつてこそ、私たちの活動が活発なものになっております。世界的に見ても稀な例である、私たちYMCAとワイズメンズクラブの密な関係が今後とも続くことを願っております。

さて、私が委員長に就任した経緯には、IYCに参加したことがあります。IYCでは、ワイズメンの皆様にご推薦され、日本を代表して参加することができました。そして、大会中では世界中のユースと寝食を共にし、そのリーダーシップの取り方や「チーム」としてのリーダーの振る舞いを身をもって体験いたしました。もちろん、私の未熟な面に気付くこともあり、もどかしい思いを経験したことも事実です。しかし、その世界のユースたちの積極的の姿から「チャレンジ」することの大切さを学び、帰国後はさまざまなことに挑戦するようになりました。具体的には、今までは参加していなかった活動に参加したり、一人で海外へ旅行をしたり、とにかく様々なものにチャレンジしてみるようになりました。その結果、自分の見聞・見解を深くすることができ、チャレンジすることは人生を楽しくさせるということを学びました。

あの夏を振り返ると、IYCが私の人生をよりよいものにしてくれたと自信を持って言うことができます。そして、そのような経験から、そこで学んだことを日本でも還元したいと思うようになり、委員長に立候補し現在に至ります。そして、自分自身が成長するきっかけを与えてくれた中央大学YMCAに貢献したいという想いがあつたのも事実です。よりよい活動が実施できるよう、日々努力を怠らないようにしていきます。また、ユースコンボケーションは人生を大きく変えてくれる良いきっかけになると思っています。今後とも、このような素晴らしい経験をするメンバーが増えることを願っております。

私は「ひつじぐも」の17代目の委員長となりました。この17代目の委員長の名前を今後も憶えていただけることを目標に、今年度も精一杯精進してまいります。まだまだ未熟な私ですが、何卒よろしく願いいたします。

## (他クラブ訪問)

東京世田谷クラブ

久保田貞視

4月21日（金）東京世田谷クラブの4月例会に参加しましたので概要報告いたします。

張替ワイズの司会で、岩崎会長の開会点鐘でスタート。ゲストとして張替ワイズが会社の同窓会で会われた二人の他、桜井さん（女性）と、もう一人のゲストの紹介に続き、担当主事の交替で岡田ナスカさんの入会式を執り行い、手作りの美味しい食事をいただきました。卓話佐藤百合子さん。彼女は、産業能率大学の元教授でボラセン歌声広場（三軒茶屋）の選曲と伴奏を引き受けられており、来月、当クラブに入会予定の由。卓話のタイトルは「老年学についてその2」として「老年学入門講座」（第三の人生を和やかに過ごすには）のレジメを皆に配布され、ジェントロジーの4つの視点（生物学的視点、心理学視点、社会心理学視点、社会学視点）から具体的な内容を報告されました。エイジングに対する変化として、身体の変化・加齢による影響、視覚、聴覚、味覚・臭覚、体性感覚・姿勢、ホルモンと容姿、心理機能と加齢について報告があり、元気うちに、遺言を作ること、年金・預金の保管をきちっとすること、地域での活動に参加し、人脈を作ることの必要性に触られました。最後に、安全のための家の工夫、身の回りの注意、日常、能動的に生活することをアドバイスされました。その後のハッピーバースデーでは私も記念品をいただき、祝っていただきました。いつもの通り、和やかな例会でした。

## 3クラブ合同メネット会

今年度メネット会長 辻 久子

14回目となる甲府・甲府21・八王子3クラブ合同のメネット会の今年の担当は甲府メネット会です。

私たち5人（大久保・久保田・辻・長谷川・小口参加）は、窓辺の桜と桃の花の絨毯の甲府盆地を満喫し、大はしゃぎしているうちに、小倉メネットがお出迎えの甲府駅に着きました。

今年は、地元の人に行く機会が少ないという市役所屋上からの甲府盆地を見渡し、県庁では山梨県人の偉人らの説明映像を見、水晶のミュージアムを見学後、甲府クラブ例会の場「談露館」で和食を頂きながらの談笑となりました、でも、鈴木孝子メネットの訃報に淋しさがひとしきりでした。

自己紹介は各人の肉声でお願いします、感動したのは、甲府21に若い人の入会が多くあり、その若々しさに圧倒！羨ましいね！このおしゃべりタイムが3クラブ合同の会の魅力、これからも続けて行きたい！

これが3クラブ合同のメネット会の醍醐味！！

「来年の八王子が楽しみです」のみんなの声を聞きながら、これだから3クラブ合同メネット会はやめられないという思いになりました。大澤メネットの「今年の甲府21のリフレッシュがステキだわね」が耳に残りました。来年の八王子開催をお楽しみに！！



## 中大・学Y便り

中大 2年 大隈亜美

まず、私は4月のワイズ例会が、初の例会の参加でした。どのような雰囲気なのか、どのような方がいらっしゃるのかも分からず、内心どきどきしながら参加させていただきました。しかしながら実際の例会では穏やかな方も多く、安心したのが正直な感想です。

さて、4月のワイズ例会のテーマは八王子市の有名な偉人がテーマでした。私はテーマで取り上げられていた、「肥沼信次」も知らなかったところか、八王子市出身でもなかったため、知識ゼロで参加させていただいたのですが、テーマ講義の中で見せていただいた映像やテーマ講義の講師の方の話を聞いて、ただ感動しましたし、自分のこれからの生き方についてもう一度考えさせられるような講義だったと思います。

それは、ボランティア活動している者としてもそうですが、一人の人間としてただただ感動しました。特に、『誰かのために生きてこそ 人生に意味がある』というアインシュタインの言葉に影響を受けた肥沼の生き方がとても美しいように思えました。自分が肥沼の立場だったら、自分が病にかかった時に、苦しんでいる患者さんのために自分の命を犠牲にすることは出来ないな、と思いました。

しかしながら、今回の講義から学んだことを生かすために、まず、今の自分をよりよい自分にするため、周りの友達や家族に対して、ふとしたことも気にかけてあげることが出来るのではないかな、と思います。それを少しずつ積み重ねて、私も沢山の人の信頼される人間になりたいと思います。

最後になりますが、ワイズ例会に対しての今までの不安が、今回の参加で解消されたので、定期的にワイズ例会に参加させていただいて、参加していらっしゃる方とより会話ができればいいなと思いました。

## 西東京センター便り

### ＜西東京YMCA便り＞ 4月

所長 中里 敦

新年度4月もあっという間に過ぎさった気がします。5月のゴールデンウィークも休みを利用して、リーダーのプレキャンプが行われ、夏に向けてキャンプの準備も進んでいます。

西東京センターの事業の中心の一つとなるのが野外事業です。野外事業には多くのボランティアリーダーが必要となります。皆様のお知り合いの大学生、専門学校生などの方がいらっしゃいましたら、ぜひボランティアリーダーのお誘いをお願いいたします。

ボランティアリーダーは、子どもたちの関わりの中で、多くの学びや自己を振り返る場を体験から得ることができません。悩み考え体験することは、ただ教わるのだけの知識とは異なり、自身の生き方の基礎となります。これから社会に出る若者にとって体で感じることは大切なものと感じています。

しかし、多様化し多くの選択肢のある時代、また学校の授業、アルバイトなどに忙しく、ボランティアにつながるケースが少なくなっています。その様な中ですが、多くの若者にYMCAでより良い体験をしてほしいと願い、色々な大学にボランティアリーダーのチラシを配布したり、知り合いの先生がいれば直接学生に語りかけさせてもらうこともあります。一度に多くのボランティアが集まることはありませんが、一人ひとり丁寧にYMCAを知ってもらうようにしています。そのことは、改めてYMCAのボランティアリーダーについて考える機会にもなります。皆様のお知り合いに、ご紹介いただける先生がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介いただければ幸いです。

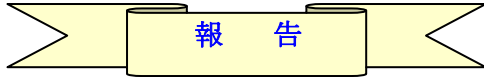
また、リーダーリクルートだけでなく、今いるリーダーにも楽しい場所であり、やりがいのある場所にしていきたいと考えています。昨年度になりますが、西東京でのリーダーの企画によるリーダートレーニングを開催しました。リーダーと一緒にYMCAでのボランティアの意義を考えたり、リーダー同士やスタッフとの交流の場にもなりました。今後もこのような場も増やしていきたいと考えております。ワイズの皆様にも交流会や様々なイベントで、色々なサポートを毎年していただいております。今年度も引き続きよろしくお願い申し上げます。

### (お 話)。

4月10日夜から1週間程ユダヤ教の人たちは「過越しの祭り」をします。主の守りによって、エジプトから脱出したことを想起し感謝する祭りです。大勢の家族がエジプトから逃げ出すのは大変なことで、モーセはその指導役を主から命じられ、固辞したようすがゆるされませんでした。

この時モーセに現れた神の自己紹介で、「ある」という者だと宣言された有名な箇所です。英語で言えばbe動詞の文字列なので、日本語で「ある」とされていますが、本来ヘブライ語の場合子音だけなので発音記号がついていないと読めないのです。その子音はYHWHなので、勝手にヤーウエと読んだりエホバとしたり、アドナイ(主)としたり、敬虔な人は一拍子置くだけにした様々なのですが、主がモーセに顕現され名乗られた画期的な瞬間を伝えた祭りでもあります。丁度同じ頃にあるイースター(16日)だけでなく、このお祭りにも注目したいものです。

仲田 達男



#### 4月第一例会の報告です。

日時：4月8日（土）6：00～北野事務所

出席者数は、メンバー14名、学Y生6名、

ゲストは卓話者の塚本回子さんと夫様。

古市 健さん（わくわくビレッジ新館長）、花輪宗命さん合計24名。

ゲスト紹介で、4月からわくわくビレッジの館長として交替された古市 健さんが、佐藤信也さんより紹介されました。佐藤さんは2年間のメンバーでしたが、4月からは東京YMCAのYMサービス株式会社の社長さんになりました。卓話者の塚本さんのご紹介を並木さんと久保田佐和子さんがされました。

お話は、八王子の生んだ偉人「肥沼信次氏」の偉業。第二次大戦後の多くのドイツ人を当時の流行となった発疹チフスから救った日本人医師、「肥沼信次」、八王子の野口英世と呼ばれた偉人の生い立ちと働き。

若い時にアインシュタインの言葉「誰かのために生きてこそ人生には価値がある」に感動して医師になり、渡ったドイツで大戦を迎え、帰国せずに現地の伝染病と戦い、自らもその病にかかり、37才で亡くなった。

お話された塚本さんは、この肥沼信次の偉業を後世に伝える会の会長さんです。

<報告>

会長より4月以降のスケジュールの確認。

5月の評議会の出欠、同じく5月のDBC（名古屋）の参加者のこと。

4月15日合同メネット会の出席者。

次期クラブ役員のお願いと確認を小口より。

新年度役員は記載のとおりで承認されました。

YMCAに東京センター所長の中里さんより、YMCA報告。

4月29日（祝）にあるペタペタ歩きの会への参加者募集、行先は羽村市。

西東京センターのスタッフの移動はなかったが、女性の新人スタッフが1名加わりました。

JCBL 関連で並木さんが報告。

今年20周年を迎えるJCBLで記念誌が発行されるので、八王子クラブの方の原稿をお願いされたので、眞野範一さんに書いて頂くことにした。

ハッピーバースデーは、中大生の宮内蒼也さん、久保田メンでした。

スマイルは、6101円でした。

小口多津子記

（書記の久保田メンが区役員会出席のため欠席）

#### 4月第2例会の報告です。

1. 日時：4月22日（土）18:00～20:10

2. 場所：北野事務所第2小会議室

3. 特記：浅羽あずさ部部長公式訪問

4. 出席者：A班：中塚、小口、長谷川 B班：茂木、久保田 C班：福田、多河、計8名

A. 議題：区大会担当主事会出席の担当主事の中里さんの大会登録費16,000円のうち、あずさ部より10,000円補助、残りの6,000円をクラブ会計より負担する件、全員一致で承認。

B. 報告・確認

・大阪セントラルクラブとのDBC合同例会

参加者：中塚会長、小口多津子、長谷川あや子、茂木稔久保田貞視・佐和子 計7名

5月20日（土）ひかり509号 新横浜発10:52名古屋着 12:17 7号車

各自チケット購入してください。集合は名古屋駅 13:00（別途集合場所を決める）

・あずさ部第3回評議会：5月13日（土）11:00～12:30 場所：山手コミュニティセンター

・東京たんぽぽクラブ設立15周年記念例会（引き続き）評議会・記念例会出席者：中塚会長、小口、長谷川、久保田の4名

・東日本区大会 6月3日～4日 参加者：中塚会長、小口、長谷川、久保田、中里担当主事、中大学Y渡邊敦

・中大ひつじぐも新入部員歓迎行事（草刈り・BBQ他）5月28日（日）集合：わくわくビレッジロビーに参加者：中大ひつじぐも16名、東京武蔵野多摩・渡邊大輔、クラブ 多河、長谷川、小口、茂木、中塚、久保田、山本 7名 合計24名

・2018年3月10日第20回チャリティコンサートについて、第19回と同じ演奏家の了解

・Swing Swing Swing !! 5月16日（火）

19:30～21:30 ザ・プリンスタワー東京1F

Music charge 4,500円 現在参加者 久保田

東京武蔵野多摩クラブ板村ワイズより別途呼びかけている。

#### あずさ部浅羽部長よりの報告

・オープン・フォーラム・Y -参加者一人一人が現場の人の声を聴き社会的課題を自分のことと認識し、新たな一歩を踏み出す（ユースが中心であるがワイズの参加自由）

5月14日（日）10:00～19:00

大学生500円、大人1,000円

\*中大ひつじぐもにも声をかける。須郷委員長を通じて。

・浅羽部長は4月13日～16日震災の被害にあった熊本YMCAを訪問、YMCAとしての支援としてリフレッシュキャン

プを検討。熊本YMCAだけでなく阿蘇YMCAの支援も必要。  
1 浅羽部長より当クラブメンバーのYMCA及びワイズ活動への取り組みについて打診:

- ・YMCAについてはあまりにも寄付金に依存している
  - ・中大ひつじぐもの卒業生をワイズに勧誘出来ないか。YMCA入会とともに、連絡の出来るOBにも声をかける。連絡できるOBについては継続的にコンタクトする必要がある。
  - ・EMCについては地場の企業家をまず入会させ、増やすことが地域での奉仕活動に必要なのは承知しているがなかなかむつかしい。
  - ・会員勧誘は一本釣りに依存せざるを得ない。
  - ・学生ひつじぐもについては将来を勘案して継続支援が必要。
- (記録:書記 久保田)

**\*BF2017年3月報告**

切手: 国内	10g (中塚)		
	海外	0g	累計 185g
	プルタブ	0kg	累計 0kg

**絹の道ボランティア活動**

**\* 老人デイサービスセンター 鍵水\***

【報告】4月20(木) ペーパーフラワー14:00~15:00  
参加者: 赤羽、色川、下重、調、久保田、山口、山中、茂木

**【予定】**

5月26日(金) 手工芸 14:00~15:00

6月予定 6月9日(金) 手工芸

活動前メネットの食事会予定 11:30~13:30

5月の誕生祝い	
望月 隆珉	5月 7日
松本 大樹	5月 8日
中里 敦	5月30日

**<西東京センター 主な行事予定> 5月**

◆9日(火)「ボイストレーニング」@西東京センター  
14時00分~15時00分

毎月(8月を除く)第2火曜日に行っています。  
呼吸・発声・響き・発音の練習をし、ハリのある声やスムーズな滑舌を身につけていきます。

定員: 各回 30名 参加費: 700円/1回

◆27日(土) 会員大会 @東陽町センター

13時30分~16時40分

参加費: 2,000円

会員による会員のための大会です。ご家族、ご友人ともご参加可能です。

**高尾わくわくヴィレッジ5月報告**

館長 古市 健

都心より少し遅れて咲いた桜も既に散り、当館の敷地内の木々は生命力溢れた若葉が輝き、大変に美しく、そして過ごしやすい季節になってまいりました。八王子ワイズの皆様にご尽力いただいた花壇とともに、お客様が自然を楽しむ姿が多く見受けられます。

年度も替わり新しい体制になって1ヶ月が経過しましたが、おかげさまで事故なく多くのお客様をお迎えすることができました。

4月の宿泊者数は3,106名(5/1 現在速報値)と昨年並みとなり、今年も例年通りに中学校、高校、専門学校や大学を中心とした新入生オリエンテーションのご利用が多くありました。

私も館長として、いくつかの開校式に一部立ち合わせていただきました。この時期に毎年ご利用いただいているお客様で、お付き合いが既に10年に及ぶ中学校があるのですが、その開校式で校長先生が「みんなは、まだ小学校を出たばかりかもしれないが、みんなの先輩たちも、このわくわくビレッジでのスプリングスクールを経て、一人前の中学生へと変わって行きました。みんなもここでの生活で、立派な中学生へと変われることを期待します」といった旨のご挨拶がありました。

私はそれを隣で聞いておまして、10年近く継続して新入生のスプリングキャンプの場として当館を選んでいただいている事に深く感謝するとともに、10年間で延べ数千人に及ぶ子ども達が、当館で思い出を作っていたこと、そして10年前に新入生だった彼らは、今や成人となってそれぞれの人生を歩んでいるだろうこと、そういった事に思いを馳せ、非常に感慨深い思いがいたしました。今後とも多くのお客様に選り続けていただけるよう、お客様と向き合ったサービスを心がけようと気を引き締め直すきっかけともなりました。

5月となり、これから迎えるゴールデンウィークでは、多くのご家族のご利用が見込まれています。お客様の安全に留意しつつ、楽しい思い出を残していただけるよう、スタッフ一丸となって取り組んでいく所存です。